



利賀の水音



vol.43

2024.11
発 刊

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会

利賀の水音 | 目 次

vol. 43 2024. 11 発刊

1. はじめに	P. 1
2. 令和6年度工事概要	P. 2
3. 利賀ダム転流工事完成・利賀川の転流完了	P. 3
4. 利賀ダム本体並びに押場貯水池法面对策着工式開催	P. 4
5. 令和5年度完成優良工事等表彰式	P. 6
6. 秋の利賀ダム見学会2024	P. 10
7. 令和6年度工事箇所・安全対策協議会の活動	P. 11
8. 工事・業務だより ー令和6年度 上半期ー	P. 12
9. トピックス	P. 28
10. あとがき	P. 30
表紙写真(上) : R6. 7. 31 転流工完成(利賀ダム転流工(吐口))	
表紙写真(下) : R6. 8. 11 利賀ダム本体並びに押場貯水池法面对策着工式における着工号令	

1.はじめに

とある道の駅に立ち寄った際、地元の食材を並べたコーナーがあり、面白いなと眺めていたら、大きな栗が袋で並んでいるのに目が留まりました。「お正月にくりきんとんで食べたら美味いだろうな・・・でも皮剥くのって大変だし・・・」、と躊躇していたところ、店員さんに声を掛けられます。

「この栗、閉園しそうになった県内唯一の栗園を、心ある方達で引き継いで育てたものですよ」



経営や担い手の問題でこの栗園に限らず、農地林野を守っていくことの難しさを耳にします。それは山の手入れ不足にも繋がる話であり、人里へのクマ出没や土砂災害の誘因となりかねません。

「多くの方が買ってくれることで、里山を守る取り組みの応援になります」、との店員さんのフレーズが心に響き、大入りの袋を買わせてもらいました。しかも三つ。

災害を未然に防ぐ仕事に携わっていますが、近年の自然の猛威を目にする度、暗澹たる気持ちに沈みます。しかしながら、実際に大地震に続き大豪雨にも見舞われた能登の方達からすれば、「そんなのはまだまだ真の困苦でない」、と言われるものかもしれません。

道の駅からの帰り道、最初は「良いことしたな」との感覚は、「買って満足、は結局一人よがりか。まずは、自分は自分の仕事をしっかりやることだろう」、と思い直すに至りました。

おそらく年末に栗の皮剥きながら、この出来事を再び思い起こすことになるでしょう。

さて、いよいよ本年度から、利賀ダム本体並びに押場貯水池法面对策について、本格的に現地に着工することとし、8月11日に工事の安全と成就を祈念して、地域の方々や関係自治体をはじめ、富山県知事、国会議員など169名の方々にご列席いただき、着工式を開催しました。

また、この着工式については、広く地域の方々にお伝えしたいと考え、インターネットを介して配信するとともに、利賀市民センターの一面をお借りしてパブリックビューイングを実施したところ、たくさんの方達がお集まりになり、その様子をご覧くださいました。

あらためまして、今回の着工式はむろんのこと、利賀ダム建設事業を進展させていただけるのは、地域の皆様並びに関係各位のご理解とご協力によるものと、厚く御礼を申し上げます。

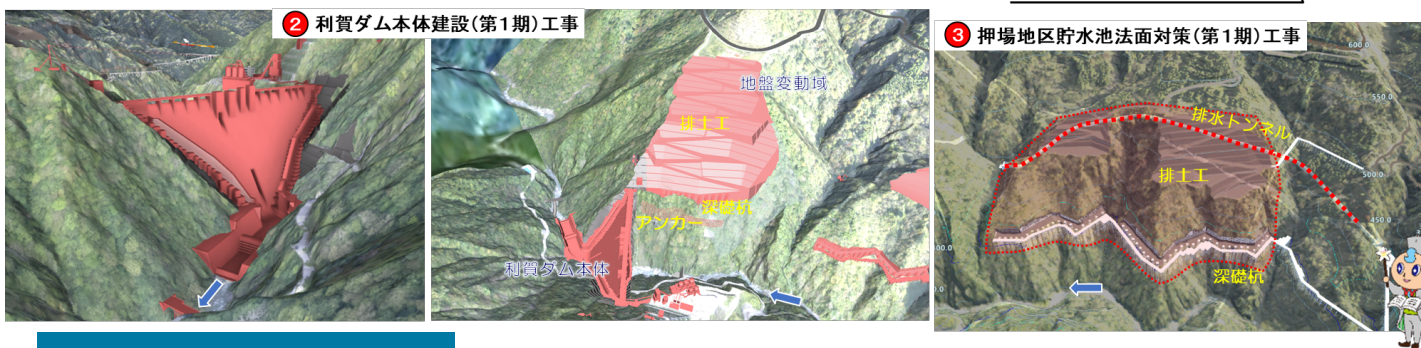
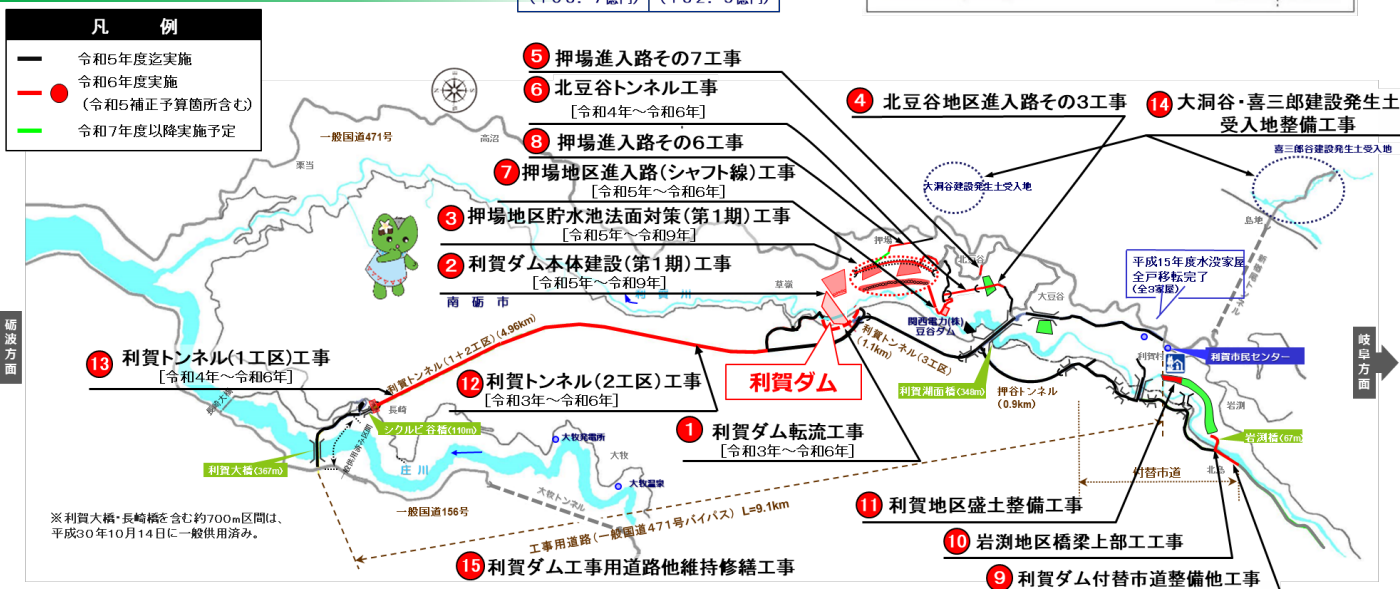
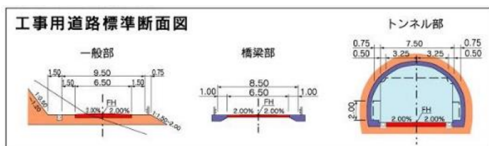
引き続き、庄川地域を守るこの事業こそ成すべき重要な仕事であると、これに携わる我々一人一人が深く心に刻み、全力で取り組んでまいります。

今後とも、ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

利賀ダム安全対策協議会会長 大角 一浩

2.令和6年度 工事概要

予算概要	
令和5年度 (R4補正含む)	令和6年度 (R5補正含む)
90.0億円 (103.7億円)	121.8億円 (132.5億円)



予算について

令和6年度の利賀ダム工事事務所の事業費は121.8億円です。

なお、令和5年度補正予算を含めた132.5億円（昨年度比約3割増：補正を含む）で今年度の事業を実施しています。

工事の注目ポイント

令和6年度工事の注目ポイントは、利賀ダム本体の着手となる「② 利賀ダム本体建設（第1期）工事」、「③ 押場地区貯水池法面对策（第1期）工事」です。令和6年8月には着工式を開催し、現地に着手しており、工事完成は令和13年度を予定しております。

なお、ダム本体工事を行うにあたって不可欠な利賀川の河川水を切廻す「① 利賀ダム転流工事」が令和6年7月に完成しています。

また、押場地区貯水池法面对策の施工に必要な進入路整備として、北豆谷地区側から「④ 北豆谷地区進入路その3工事」、林道下山線から「⑥ 北豆谷トンネル工事」、「⑤ 押場進入路その7工事」、「⑦ 押場地区進入路（シャフト線）工事」、市道押場線での「⑩ 押場進入路その6工事」を進めています。そして、利賀・岩淵地区においては、「⑪ 利賀地区盛土整備工事」で押え盛土工の整備を進めていきます。

工事用道路の整備については、引き続き進捗を図るものとし、押場地区側から「⑫ 利賀トンネル（2工区）工事」、口山地区側から「⑬ 利賀トンネル（1工区）工事」を進めていきます。

上記工事の他、大洞谷及び喜三郎での工事発生土の受け入れ工事として「⑭ 大洞谷・喜三郎建設発生土受入地整備工事」、付替市道の整備進捗を図るものとして「⑨ 利賀ダム付替市道整備他工事」、「⑩ 岩淵地区橋梁上部工事」さらに「⑮ 利賀ダム工事用道路他維持修繕工事」において管内事業エリアの維持を継続して行っています。

引き続き、多くの工事や地質調査業務等が実施され、利賀地域の皆様にはいろいろご迷惑をおかけしますが、「安全第一」で工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3.利賀ダム転流工事完成・利賀川の転流完了

令和6年7月5日(金)に利賀ダム本体建設箇所を流れる利賀川の転流を完了し、7月31日(水)に利賀ダム転流工事が無事完成しました。

ダム完成までの間、川の流れは仮排水路トンネルを通過して下流へ流れることになります。

本工事完成により利賀ダム本体工事の着手が可能となりました。

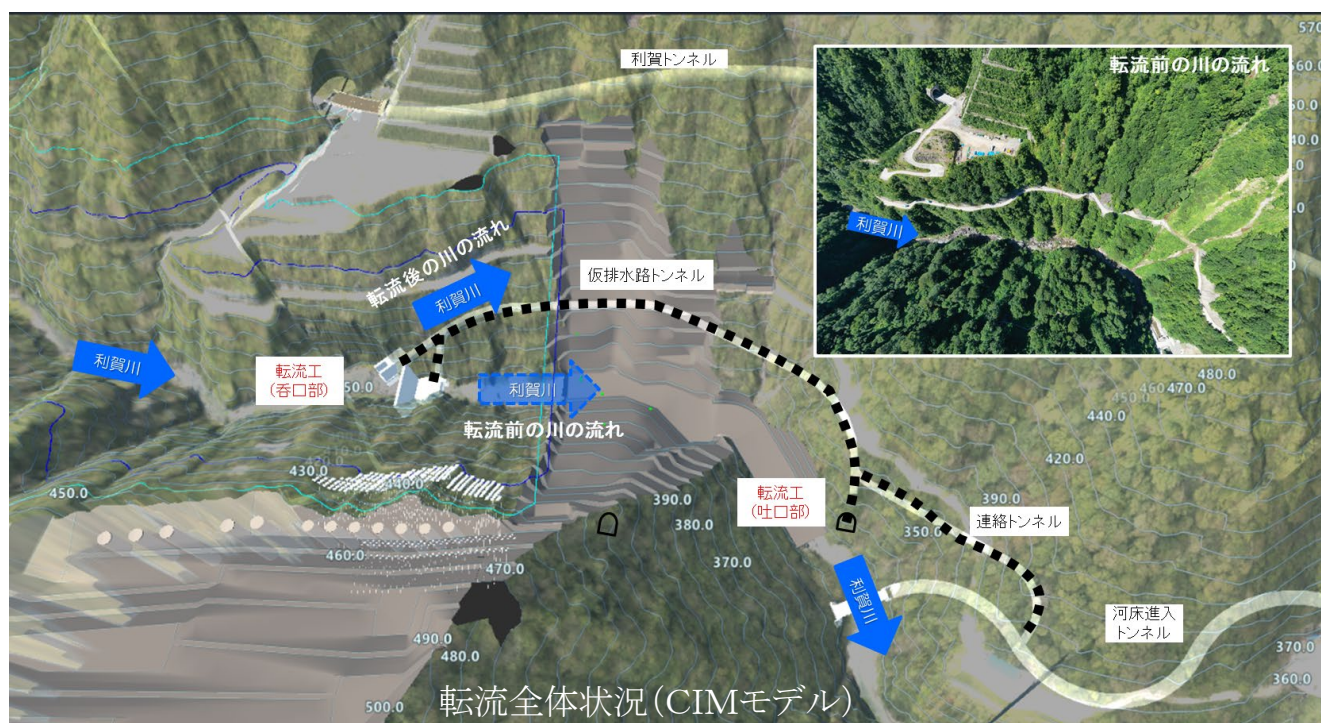
仮排水路トンネル 吐口部より



仮排水路トンネル 呑口部より



転流の際には、宝船を仮排水路トンネルに流して節目を祝いました。



4. “利賀ダム本体並びに押場貯水池法面対策着工式”開催

令和6年8月11日(日)、「利賀ダム本体並びに押場貯水池法面対策着工式」が砺波市文化会館にて開催され、富山県知事、関係国会議員をはじめ、169名の方々にご列席いただきました。

式典では、国土交通省堂故副大臣の式辞、新田知事、国会議員の祝辞、田中南砺市長の挨拶をいただきました。

その後、利賀ダム工事事務所大角事務所長より工事計画説明を行い、利賀ダム本体及び押場貯水池法面対策工事の安全を祈念して、鍬入れと幕引きが行われました。

また、式典では富山県立南砺平高等学校の郷土芸能部より、民謡をご披露いただき会場を盛り上げていただきました。

式典の様子はYouTubeによる限定ライブ配信(事前申込者向け)の他、利賀市民センターにパブリックビューイング会場を設け、地元の方々にも式典の様子をご覧いただきました。

ご出席、祝電をいただきました皆様、南砺平高等学校の皆様へ心より厚くお礼申し上げます。



事業の安全成就を祈念した鍬入れ・幕引きの様子

祝 辞



野上 参議院議員



橘 衆議院議員



田畑 衆議院議員



柴田 参議院議員



佐藤 参議院議員



足立 参議院議員



新田 富山県知事

式 辞

地元挨拶



堂故副大臣



田中南砺市長

工事計画 説明

パブリック ビューイング



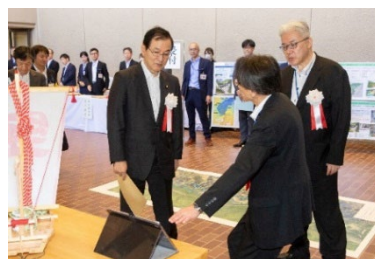
大角事務所長

着工式の様子を利賀市民センターで生配信し、19名の方が参加されました。



展 示

利賀ダムの3D映像や説明パネル、転流工宝船等をご覧いただきました。



アトラク ション

富山県立南砺平高等学校の郷土芸能部より、越中五箇山民謡の「こきりこ」、「五箇山追分」と「麦屋節」をご披露いただき会場を盛り上げていただきました。



南砺平高等学校郷土芸能部による「こきりこ(写真上)」と「麦屋節(写真下)」の披露

5.令和5年度完成優良工事等表彰式

令和6年7月18日(木)北陸地方整備局(新潟市)において、令和5年度完成優良工事等表彰式が挙行されました。

この表彰制度は、北陸地方整備局所管の工事・業務等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上を図ることを目的としています。

当事務所からは、優良業務局長表彰として「令和4年度利賀ダム押場地区地質調査業務」を担当した(株)村尾地研様が受賞されました。

令和6年7月26日(金)には、利賀ダム工事事務所において事務所長表彰として工事部門で「令和3年度押場進入路その3工事」を担当した松本建設(株)様、委託業務部門で「令和4年度利賀ダム裁決申請図書等作成業務」を担当した(株)国土開発センター富山支店様が表彰されました。また、併せて局長表彰された方から受賞披露がありました。



利賀ダム工事事務所で開催した表彰式の様子



トムはかせ

受賞された皆様
おめでとうございます♪



サユリン

令和5年度完成 優良工事等受賞者一覧

北陸地方整備局長表彰

●優良委託業務

受注者名	工事名
株式会社村尾地研	令和4年度利賀ダム押場地区地質調査業務

●優良建設技術者(委託業務)

技術者名	役職	受注者名	業務名
田縁 陽一	主任技術者	株式会社村尾地研	令和4年度利賀ダム押場地区地質調査業務

利賀ダム工事事務所長表彰

●優良工事

受注者名	工事名
松本建設株式会社	令和3年度押場進入路その3工事

●優良委託業務

受注者名	業務名
株式会社国土開発センター 富山支店	令和4年度利賀ダム裁決申請図書等作成業務

●優良建設技術者(工事)

技術者名	役職	受注者名	工事名
音羽 信孝	監理技術者	松本建設株式会社	令和3年度押場進入路その3工事

●優良建設技術者(委託業務)

技術者名	役職	受注者名	業務名
柳 久夫	主任担当者	株式会社国土開発センター 富山支店	令和4年度利賀ダム裁決申請図書等作成業務

●優良下請負者

下請負者	元請負社名	優良工事名
東興ジオテック株式会社 北陸支店	松本建設株式会社	令和3年度押場進入路その3工事

●優良下請負者(技術者)

技術者名	下請負者	優良工事名
米田 晴彦	東興ジオテック株式会社 北陸支店	令和3年度押場進入路その3工事

優良業務【北陸地方整備局長表彰】

令和4年度押場地区地質調査業務



【施工箇所】 富山県南砺市利賀村押場地先
【受注者名】 (株)村尾地研
【技術者名】 田縁 陽一（主任技術者）
【工 期】 令和5年3月16日～
令和6年1月10日
【工事概要】 機械ボーリング（土質ボーリング[水平]、岩盤ボーリング[水平]）、解析等調査

【表彰理由】 押場地区法面对策工事はトンネルによる地下水排除工、頭部排土工、深礎工を予定しており、深礎工の施工にあたっては、施工ヤードの確保の観点より頭部造成として抑制側の土砂の除去が伴い安全率の低下が見込まれていることから、頭部造成による安全率低下分を抑制する排水ボーリングを計画している。本業務は、排水ボーリング施工の確実性及び地下水低下効果の確認を目的に試験施工を行ったものであり、工事施工上必要となる成果（排水ボーリング施工の確実性及び地下水低下効果確認）を必要な時期にとりまとめた。

優良業務【利賀ダム工事事務所長表彰】

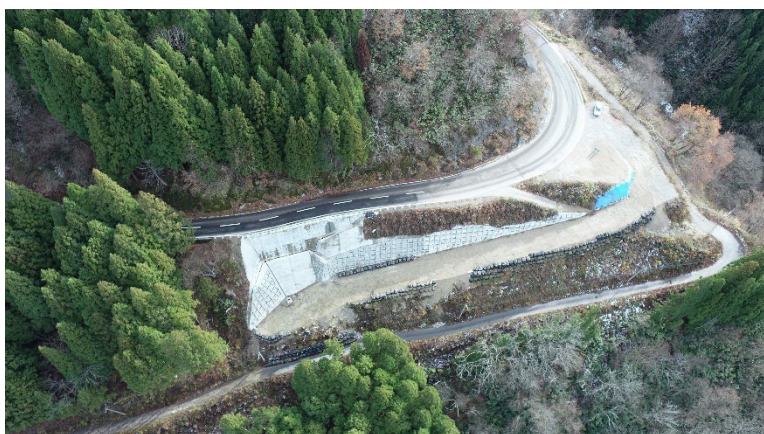
令和4年度利賀ダム裁決申請図書等作成業務



【施工箇所】 利賀ダム工事事務所管内
【受注者名】 (株)国土開発センター富山支店
【技術者名】 柳 久夫（主任担当者）
【工 期】 令和4年8月9日～
令和5年9月29日
【工事概要】 裁決申請図書等作成業務

【表彰理由】 事業認定告示日以後の裁決申請手続において期間を通じて適切な工程管理を行い、事業工程上の期限内に収用裁決を得ることができた。また、収用委員会事務局からの要望に対し、技術力を発揮し求められた資料を作成したことで円滑な収用手続きの進捗にも寄与した。

令和3年度押場進入路その3工事



【施工箇所】 富山県南砺市利賀村北豆谷地先
【受注者名】 松本建設(株)
【技術者名】 音羽 信孝 (監理技術者)
【工 期】 令和4年4月1日～

令和6年2月29日

【工事概要】 道路土工1式、法面工1式、舗装工1式、カルバート工1式、排水構造物工1式、防護柵工1式、構造物撤去工1式、災害復旧工1式、仮設工1式

【表彰理由】 施工箇所は斜面上の狭隘な箇所で電柱及び架空線を存置した状態での作業が必要な厳しい現場であったが、それに加え、令和4年8月には工事現場内で法面崩壊という不測の事態が発生した。この不測の事態に対応するにあたり、当該工事では、24時間体制による現場監視と交通車両誘導の体制を迅速に構築した上で、降雪までに応急復旧を完成させ、除雪車両の走行を含めた交通の影響を最小限とした。また、崩壊法面の本復旧を含む工事の施工にあたっては、小規模ながら多工種が含まれるため、狭隘な斜面上において段取り替えが多く発生することが予想されたが、施工がスムーズに行える工法を提案し、次作業を考慮した施工順序及び下請業者との綿密な調整を図り、適切な工程管理を実施することによって遅延を発生させることなく工事を完成させた。

優良工事下請負者【利賀ダム工事事務所長表彰】

令和3年度押場進入路その3工事



【施工箇所】 富山県南砺市利賀村北豆谷地先
【元請負者】 松本建設(株)
【下請負者】 東興ジオテック(株)北陸支店
【技術者名】 米田 晴彦 (専任技術者)
【工 期】 令和4年8月9日～

令和6年9月29日

【工事概要】 法面工1式、災害復旧工1式、法面復旧工1式

【表彰理由】 本工事では、法面崩壊という不測の事態が発生し、本体工事である法面工の施工を行いながら法面の応急復旧に対応する必要性が生じた。法面復旧では、多工種を同時施工する必要がある異職種の作業による段取り替えが多く発生すると予想されたが、当該企業は施工手順を熟慮し他の下請負者との工程調整にも柔軟に対応した。また、元請け企業が要望した工法にも柔軟に対応し、更なる工程遅延を発生させることなく、工事の無事完成に寄与した。

6. 秋の利賀ダム見学会2024

令和6年10月5日(土)に、利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会主催による「秋の利賀ダム見学会2024」を開催しました。利賀ダム工事事務所安全対策協議会としても皆様と協働して、開催準備から当日の運営のお手伝いをしました。

今年は、マイクロバスに乗り、橋やトンネルを抜けて、転流工の吐口部まで行く①「利賀ダム工事バスツアー」、令和6年7月に完成した転流工周辺、ダム本体建設場所の様子を歩きながら見学する②「利賀ダム健康ウォーク」と③「利賀ダムDXルームの自由見学」を実施しました。

当日は、幅広い世代の地域の方々62名に参加して頂き、利賀ダム建設工事の今を体感して頂きました。地域の皆様、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

ダム工事の今を体感！

転流工の「今」を見に行こう！



見学場所



■■■■：ウォーキング範囲



見学会の様子

連絡協議会会長の挨拶

完成した転流工（吐口部）

あの辺りに
利賀ダムができますよ～

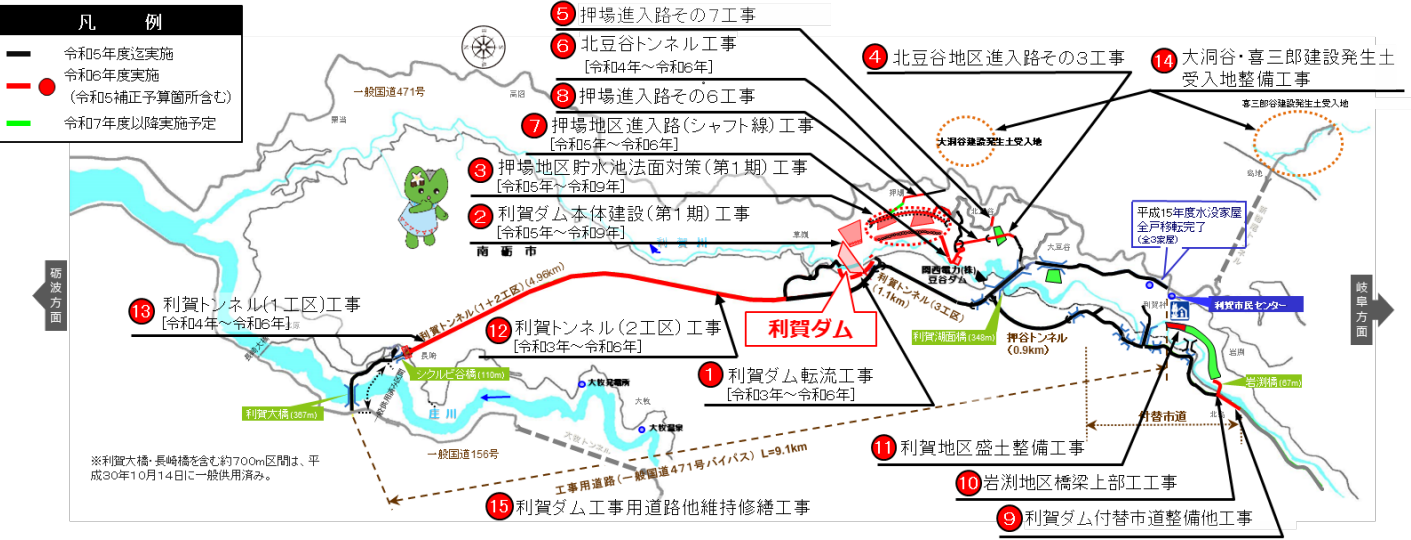
転流工内部の様子

7. 令和6年度工事箇所・安全対策協議会の活動

●安全パトロールの実施

利賀ダム工事事務所安全対策協議会では、労働災害・事故等の未然防止を目的として、利賀ダム工事事務所職員および工事受注者、地質調査業務受注者で月1回程度、管内の現場パトロールを実施しています。10月末現在、安全パトロールは4回実施し、第4回安全パトロールには、砺波労働基準監督署の方と合同で実施し、建設機械の取り扱いや高所作業中の留意事項等についてご指導いただきました。

令和6年度 工事概要



※1「⑩岩渕地区橋梁上部工工事」、令和6年10月末時点では未契約。
※2「① 利賀ダム転流工事」は令和6年7月に完成。

実施日		対象工事	施工者	参加者数 (名)	備考
第1回	R6. 7. 24 (水)	⑦ 押場地区進入路 (シャフト線) 工事	(株)加賀田組	34	
		⑥ 北豆谷トンネル工事	五洋建設 (株)		
第2回	R6. 8. 27 (火)	② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【大洞谷建設発生土受入地】	清水・鴻池 J V	39	
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【地盤変動域】			
第3回	R6. 10. 2 (水)	⑭ 令和5年度大洞谷・喜三郎建設発生土受入地整備工事【喜三郎谷】	砺波工業 (株)	43	
		④ 令和6年度北豆谷進入路その3工事	(株)岡部		
		⑪ 令和6年度利賀地区盛土整備工事	(株)藤井組		
第4回	R6. 10. 31 (木)	② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【赤松谷】	清水・鴻池 J V	46	砺波労働基準監督署合同
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【下島骨材置き場】			
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【大洞谷建設発生土受入地】			
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【地盤変動域】			



皆さんの厳しいチェックで現場をみてもらって、
より安全に施工ができるようにアドバイスを
もらいました！

工事を安全に進める
ためには重要なパト
ロールだね！



安全パトロールの様子

⑦ 押場地区進入路（シャフト線）工事



第 1 回安全パトロール（R6. 7. 24）

⑥ 北豆谷トンネル工事



第 1 回安全パトロール（R6. 7. 24）

② 利賀ダム本体建設（第 1 期）工事
【大洞谷建設発生土受入地】



第 2 回安全パトロール（R6. 8. 27）

② 利賀ダム本体建設（第 1 期）工事
【地盤変動域】



第 2 回安全パトロール（R6. 8. 27）

⑭ 令和 5 年度大洞谷・喜三郎建設発生
土受入地整備工事【喜三郎谷】



第 3 回安全パトロール（R6. 10. 2）

④ 令和 6 年度北豆谷進入路その 3 工事



第 3 回安全パトロール（R6. 10. 2）

●利賀ダム工事事務所建設労働災害防止大会を開催

利賀ダム工事事務所安全対策協議会では、「安全」に関する取り組み強化と意識高揚を図る活動の一環として、ダム事業に関する工事や業務の受注者及び監督職員が参加する『第27回利賀ダム工事事務所建設労働災害防止大会』を令和6年10月16日(水)に開催しました。大会では、リモートを含め関係者約40人が出席。ダム建設現場の無事故・無災害をめざし、協議会活動報告、砺波労働基準監督署、南砺警察署による講話のほか、7項目の重点目標を盛り込んだ安全宣言の採択を行い、取り組みの実践・強化を確認しました。



採択された安全宣言の読み上げ

安全宣言

令和六年度 安全重点目標

[illegible]

- 高所からの墜落・転落及び飛来・落下災害の防止
- 車両・建設機械との接触災害の防止
- 崩落・崩壊・落石及びすべり災害の防止
- 交通遮断全ルールの徹底、交通事故災害の防止及び第三者災害防止
- 工事従事者全員による危険予知活動及び訓練の徹底
- 指揮者の指示に基づき、作業範囲の明示・周知及び係長・安全組合員の徹底
- 工事従事者への目配り・声かけ・体調管理等の徹底

令和六年十月十六日

利賀ダム工事事務所安全対策協議会 第二十七回 建設労働災害防止大会

利賀ダム転流工事

【工期】令和4年1月26日～令和6年7月31日



前田建設工業株式会社



(前田建設工業株式会社は、
インフロンア・ホールディングスグループの一員です)

完成



監理技術者
福谷 将徳

工事概要

本工事は、利賀ダム本体工事に先立ち利賀川の河流処理として計画された仮排水路トンネル、作業坑及び連絡トンネルを施工し、呑口部と吐口部の坑門工を構築するものです。

令和6年度は、利賀川を仮排水路トンネルに転流させるために必要な上流仮締切工の締切ゲートや下流開水路工を施工しました。令和6年7月5日に利賀川の転流を行い、7月31日に全ての工事を完了いたしました。

トンネル延長	仮排水路トンネル / 441.5m 連絡トンネル / 159.4m 作業坑 / 27.5m
掘削断面積	24.7m ² (仮排水路トンネル, 支保パターンB 設計)
工法のその他	NATM工法(発破掘削) インバート工・坑門工 上流仮締切工・下流開水路工

現場の状況

施工前

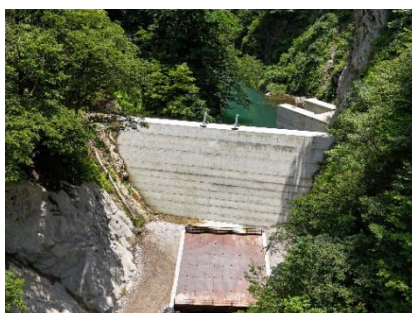
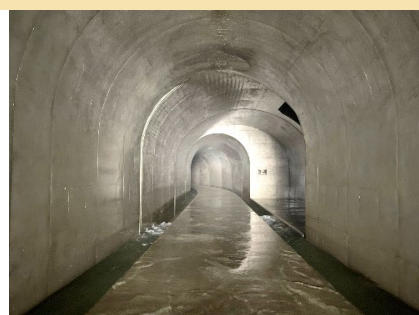


仮排水路トンネル吐口部



仮排水路トンネル呑口部
上流仮締切部

施工後



工事の工夫点

本工事は、利賀ダム本体工事の着工に向けて、「河川増水に強く、安全でかつ確実に工程を確保する」という目標を掲げ施工を進めてまいりました。工夫点は、先行して利賀川河床の工事用道路を造成することで、坑門工や上流仮締切工を早期に着工することが可能となりました。また、重力式擁壁による仮締切や仮設構台の追加施工などにより、河川増水による手戻りを最小限とすることができました。これらの工夫により、令和6年7月31日に全ての工事を無事に完成することができました。

工事完成の挨拶

本工事完成により、利賀ダム本体工事の着工が可能となり、利賀ダム事業の完成にまた一步近づきました。地域の皆様には、河床進入トンネル工事を含めて、平成31年から令和6年の約6年にわたり、工事に対するご理解とご協力をいただき誠に感謝申し上げます。現在、ダム本体工事や押場貯水池法面対策工事などの大規模工事が開始されたところではありますが、利賀ダム事業の早期完成と利賀地域の更なる発展を心から願っております。

利賀トンネル（2工区）工事

継続

【工期】令和4年3月12日～令和7年3月24日



大成建設株式会社



監理技術者
下野 正人

工事概要

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、中間部（L=2,394.7m）を施工する工事です。

現在、令和5年1月からトンネル掘削を、令和5年7月から覆工を開始しております。

トンネル延長	利賀トンネル ／ 2,394.7m（全長4,963m）
掘削断面積	55.8m ² （支保パターンC I 断面 設計）
工 法 そ の 他	NATM工法（発破掘削）

現場平面図



安全対策

本工事では、現場内にカメラを設置し得られた映像をリアルタイムに確認できる体制を整えています。作業箇所に職員がいない場合においても、作業状態を確認し危険の有無をチェックしています。また、映像データはクラウドに自動保存されており過去の確認も可能であるとともに、360°のカメラアングル変更やズームによる詳細確認などについても可能となっています。



地域貢献

令和6年5月12日に開催された「利賀天空ロゲイニング2024～新緑編～」に参加しました。今まで知っているようで知らない利賀村内の魅力を再発見できたイベントでした。最終的に優勝とまではいきませんでしたが、6位入賞し存分に楽しむことが出来ました。

今後も地域の行事に積極的に参加したいと考えておりますのでよろしくお願いします。



利賀トンネル（1工区）工事

継続

【工期】令和5年3月8日～令和7年3月15日



清水建設株式会社

工事概要

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、最下流部（L=1,368m）を施工する工事です。

令和5年8月末からトンネル掘削を開始、令和6年2月末より覆工コンクリート工を開始し、令和6年9月末時点でトンネル掘削はL=1,007mまで、覆工コンクリート工はL=580mまで施工が完了しております。

トンネル延長	利賀トンネル ／ 1,368m(全長4,963m)
掘削断面積	55.8m ² (支保パターンCⅠ断面設計)
工法	NATM工法（機械/発破掘削）



現場代理人
福岡 幸治

現場の状況



安全対策

本工事ではトンネル掘削中の突発湧水発生が懸念されており、掘削作業中に発生する突発湧水による切羽崩壊を未然に防ぐために、事前調査に基づく位置で水抜き先進ボーリングが設計されていきました。令和5年12月・令和6年5月に施工した水抜き先進ボーリングでは、約1.5～2.0m³/分の大量湧水を捉え、先行水抜きにより周辺地山の水圧を低下させ、安全にトンネル掘削を進めながら帯水層区間を無事突破することができました。



地域貢献

本工事の施工ヤードが位置する南砺市利賀村北原・長崎地区において、令和6年5月にトンネル工事の影響と考えられる水道水源の水量減少が発生しました。水量減少により周辺地域への安定した水道供給が難しくなったため、給水車による24時間体制での給水作業を行い、安定した水道供給に努めました。

自然を相手にする山岳トンネル工事であり、これからも様々な事象が発生する可能性があります。その都度周辺地域の皆様の声に耳を傾け、周辺地域環境保全に努めてまいります。



北豆谷トンネル工事

継続

【工期】令和5年2月10日～令和6年11月12日



五洋建設株式会社



監理技術者
本間 宏記

工事概要

本工事は、利賀ダム貯水池斜面对策施工のために必要な工事用道路の一部となるトンネルと仮栈橋を構築するもので、トンネルを先行して施工しています。

昨年12月下旬からの冬季工事休止を経て、今年3月末に工事を再開しました。4月に仮設備を再設置した後、5月中旬にトンネルを貫通させ、5月中旬～7月下旬までに貫通側（起点側）坑口部の切土・のり面工の施工を終えました。トンネルの未施工部分の施工は7月下旬～10月上旬、起点側での仮栈橋の構築は9月下旬～11月上旬に行う予定です。厳しい施工条件下での工事が続きますが、工事完成に向けて残り工事を進めます。

現場の状況

9月下旬の現地状況



トンネル延長	342.0m
掘削断面積	41.6m ² (支保パターンCI、CII 設計)
トンネル工法	山岳工法 (NATM工法)
掘削方式	発破掘削方式
掘削工法	全断面掘削工法
工事内容	道路土工 / 1式 (残土処理工) トンネル工 (小断面NATM / 1式 インバート工 / 35.0m 坑内付帯工 / 1式 坑口付工 / 1式 掘削補助工 / 1式 仮橋・仮栈橋架設工 / 1式 仮設工 / 1式

安全対策

トンネル坑口までの経路である林道下山線は、隣接工事と共用しています。残土運搬ダンプをはじめ、数多くの工事用車両が安全かつ円滑に通行できるように、林道全線の鉄ピン・トラロープによる路肩明示、拡幅待避箇所単管柵、林道中間部の車両検知・警報システム、急曲線部のカーブミラーを設置しました。また、隣接工事業者と車両通行情報を共有し、無線機や車両位置情報システムを活用して林道下山線の安全管理を行っています。



地域貢献

4月21日、北豆谷地区を通る国道471号の側溝掃除を地域住民の方々と当工事を含む工事関係者で実施しました。側溝掃除の終了後には工事説明会を開催し、工事概要と安全対策を説明し工事に対する理解を深めていただきました。また、7月6日には高峰山に向かう林道の草刈りを地域住民の方々と共に実施しました。今後も地域行事やイベントがあれば参加し、地域に貢献したいと思います。



令和5年度押場進入路その5工事

完 成

【工期】令和5年7月25日～令和6年6月30日



株式会社藤井組



監理技術者
石崎 知則

工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地内の林道下山線において、利賀ダム工事業で工事用道路として使用する仮栈橋（施工延長L=128m）を構築する工事でありました。

工事は令和5年9月上旬より仮栈橋架設工事に着手しまして、令和6年6月中旬で全ての工事が無事完了いたしました。

仮橋・仮栈橋工			橋脚 / 141t
			仮橋上部 / 89.5t
			覆工板設置撤去 / 742m ²
			仮設高欄 / 251m
植	栽	工	植林 / 1式
仮	設	工	足場 / 1式

現場の完成状況

施工前



施工後



工事の工夫点

本工事はBIM/CIMを活用した工事であり、工事着手前に仮栈橋の3次元モデルを作成し、現場条件、問題点などを予め確認することで施工計画の効率化、安全性・生産性向上を図り、また協力会社作業員の理解促進も図りました。

BIIM/CIM活用効果

- ・3次元モデルの視覚化により工事全体のイメージが掴めました。
- ・3次元モデルで工事の問題を事前に把握でき手戻り防止が図れました。
- ・事前検討ができるため、安全性・施工性の向上につながりました。



仮栈橋の3次元モデルデータ

工事完成の挨拶

昨年9月上旬より工事開始し、6月中旬にすべての工事が完了致しました。急峻かつ狭隘な厳しい現場条件ではありましたが、無事、無事故で工事完成することができたことは、地域住民の皆様ならびに工事関係者の方々のご協力のおかげだと思っております。また、地域の皆さんと市道の清掃活動、利賀ダムイベント等で協力できたことが印象に残っています。短い期間ではありましたが、誠に有難うございました。

令和5年度押場地区進入路(シャフト線)工事

継続

【工期】令和5年6月13日～令和6年11月29日



株式会社加賀田組



現場代理人
樋口 誠矢

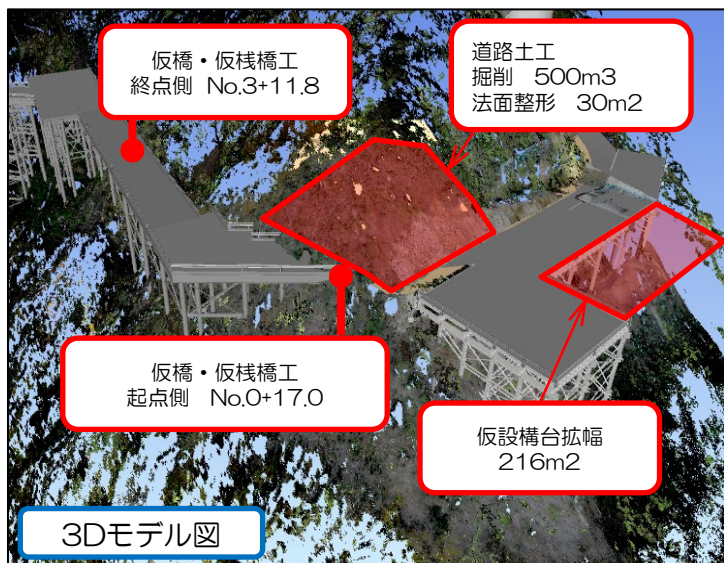
工事概要

本工事は、利賀ダム貯水池法面对策の工事用道路として仮栈橋を構築する工事です。

施工箇所は非常に急峻な地形であることから仮栈橋は工場製作によりパネル化された上部工を先行して架設した後、支柱杭となる鋼管杭を打設する「SqCピア工法」による施工を行います。7月より本格的に仮栈橋の施工に着手し10月下旬頃に現場の施工完了を目指しております。

道路土工	掘削工 / 500m ³ 法面整形工 / 1式
仮橋・仮栈橋架設工	仮橋・仮栈橋工 / 1式 SqCピア工法 / 54.8m 仮設構台拡幅 / 216m ²
仮設工	工事用道路工 / 1式
伐採工	伐採工 / 1式

現場の状況



9月中旬の現地状況



安全対策

本工事の施工箇所は、非常に急峻かつ険しい山間部における高所での仮栈橋施工であることから作業員や搬入車両等が高所から転落したり急峻面から滑落するのを防止する為、墜落・転落可能性箇所の単管柵の整備やロープ・フルハーネス型安全帯の使用を徹底しました。また、車両の搬入出時の路肩明示として全天候型反射ロープを路肩沿いに設置することで夕方などの薄暗い時間帯でも車両ライトによるロープへの反射により路肩の位置が確認できるよう可能な限り転落への危険リスクを減らしながら作業を進めています。



地域貢献

「北豆谷地区ボランティア活動(4月)」、「利賀地域職場対抗ソフトボール大会(7月)」に参加させていただきました。今後も利賀地域がさらに盛り上がるよう地元の行事に参加したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



利賀ダム本堤建設（第1期）工事

新規

【工期】令和6年3月5日～令和10年2月28日

清水・鴻池特定建設工事共同企業体



現場代理人
鹿田 朋義

工事概要

本工事は、一級河川庄川の右支川である利賀川において建設を進めている多目的ダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給を目的としています。

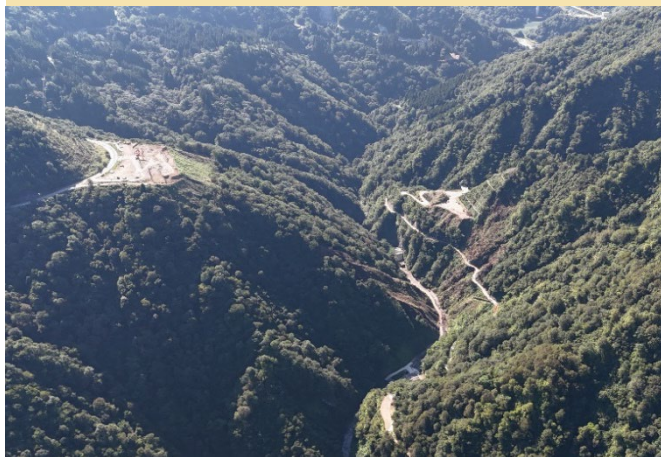
ダムの形式は重力式コンクリートダムです。

令和6年5月に工事に着手し、令和7年度末まで冬期休止期間をはさみ2年で堤体基礎掘削、右岸地盤変動域対策工、ダム施工設備の設置等を行い、令和8年度から4年かけてコンクリートを打設する予定です。

ダム諸元	堤体積 / 約50万m ³ 堤高 / 112m 堤頂長 / 255m
施工数量	ダム土工 / 約20万m ³ 右岸地盤変動域対策工 / 約100万m ³
工法	RCD工法

現場の状況

ダムサイトの現地状況（9月中旬）



右岸地盤変動域対策工の現地状況（9月中旬）



安全対策

令和6、7年度は右岸地盤変動域の掘削に伴い残土搬出を行います。一般国道を使用するの運搬となりますので、出入口部に交通誘導員の配置、車両感知センサーの設置、タイヤ洗浄設備の設置、車両はかりの設置、明示看板の設置等の安全対策を実施しました。地元の皆様に極力ご迷惑をおかけしないように進めてまいりますので、今後とも、ご指導よろしくお願い致します。



地域貢献

「利賀天空ロゲイニング（5月）」、「利賀地域職場対抗ソフトボール大会（7月）」に参加させていただきました。利賀地域が更に盛り上がるようにイベントには積極的に参加、協力させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。



押場地区貯水池法面对策（第1期）工事

新規

【工期】令和6年3月7日～令和10年2月29日

大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体



現場代理人
我妻 敏昭

工事概要

本工事は、一級河川庄川水系利賀川に建設される利賀ダム(多目的ダム)の貯水池における法面对策工事(押場地区)です。

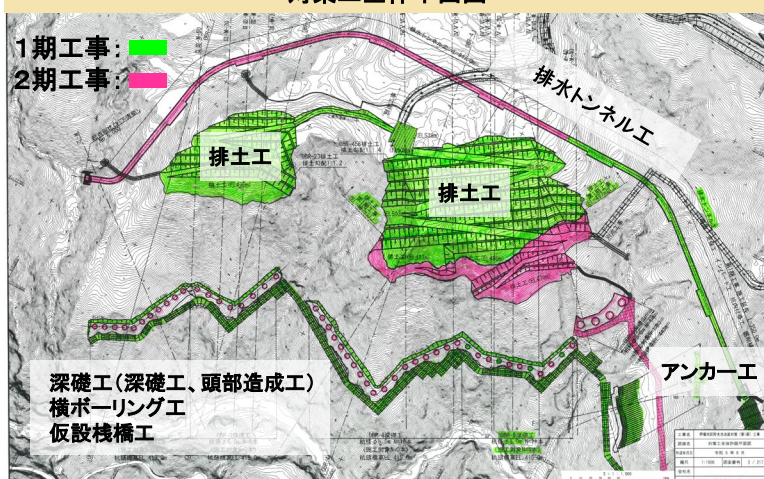
工事の内容は、地下水位を下げる横ボーリング工と排水トンネル工、滑動力を低減させる排土工、抑止杭工(深礎工)及びアンカー工であり、湛水後における貯水池法面の安全性を向上させるものです。

工事は、6月から横ボーリング工で使用する資機材を国道471号線から運搬するためのモノレール設置に着手し、9月からボーリング作業を開始しています。

排土工	26万m ³
深礎工	深礎工 / 4本 L=29~66m アンカー工 / 93本 頭部造成工 / 切土・アンカー
排水トンネル工	トンネル延長 / 350m
横ボーリング工	削孔長 / 41~91m
仮設棧橋工	5,9156m ²

現場の状況

対策工全体平面図



9月中旬の施工状況



横ボーリング状況

安全対策

本工事では、施工場所が広範囲に点在しているとともに、昼夜で施工を行う工事もあることから、多くの車両が運行する予定です。運転手への教育の徹底、通勤も含めた交通ルール遵守、一般車を優先した安全運転に努めます。

また、横ボーリング用の大型機材の運搬にはヘリコプターを使用しますが、事前の近隣への周知や安全に配慮した対策を行ってまいります。

地域の皆様方にはご迷惑をお掛けしないよう注意して工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ヘリコプター機材運搬



地域貢献

先日、南砺市誕生20年のプロジェクト「南砺ロゲイニング」に参加しました。当日は指定されたチェックポイントをまわり、時間内に集めたポイントを参加者で競いました。参加者、南砺市民の方々との交流することができ、大変盛り上がりしました。その他に地元の草刈り、道路側溝清掃、ソフトボール大会にも参加しました。

今後、事務所宿舎を利賀村内に設置計画中であり、地域の方々との交流を通じて利賀村の活性化に貢献できればと考えております。

今後も地元の行事に積極的に参加したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

南砺ロゲイニング



令和6年度利賀ダム工事用道路他維持修繕工事

新規

【工期】令和6年4月1日～令和7年3月31日



中山工業株式会社



現場代理人
新田 信彦

工事概要

本工事は、利賀ダム工事事務所管内一円を施工範囲として、各種工事が円滑に施工できるように各所で維持・修繕作業を行っています。

道路維持

舗装工、防護柵工、標識工、進入防止工、区画線工、
道路付属施設工、コンクリート構造物工、除草工、仮設工、
除雪工、雑工

現場の状況

【現場状況の一例】工事用道路のアスファルト舗装補修を行いました。

アスファルト舗装 補修前



アスファルト舗装 補修完了



安全対策

維持工事は、多種多様な工種があり、急峻なところ、急斜面・高所作業では、保護具の着用はもちろん、上下作業の回避、親綱の設置、点検、手元・足元注意の徹底を図り、連絡・合図の確認の徹底、有資格者による確実な作業を心掛けて、無災害で進めています。

工事用車両等は交通ルールを守り、スピードダウン、ライトの点灯を行い安全運転を励行します。

冬季は、工事用道路でのロータリー除雪作業時に、監視員が同行いたしますので、誘導及び指示にご理解・ご協力をお願い致します。



冬季 除雪作業

地域貢献

関連施設の除草作業を行いました。また、地域イベントへの参加などに心掛けて協賛する予定です。



東屋付近 除草作業

令和6年度押場進入路その6工事

新規

【工期】令和6年3月7日～令和7年1月20日



中越興業株式会社

工事概要



監理技術者
平田 正治

本工事は、押場地区の貯水池斜面对策工事のため、工事用道路を整備する工事です。市道押場線の入口部分では、約7.0mの道路幅員を確保するためジオテキスタイル補強土壁工を施工します。

ジオテキスタイル補強土壁工の終点部から押場地区へ向かって、仮橋・仮栈橋工を施工します。

また、国道471号側の法面の安定を図るため、鉄筋挿入工を施工します。

9月以降は、市道押場線の終点側の土工区間の追加工事(掘削工、盛土工)を11月下旬頃まで施工します。

現場の状況

9月中旬の現地状況

起点側より終点側を望む



法面工

擁壁工

仮橋・仮栈橋架設工

押場線工事用道路

(終点部)

鉄筋挿入工 / 82組

ジオテキスタイル補強土壁工 / 1,620m²

仮橋・仮栈橋工 / 65m

掘削工及び盛土工 / 160m

終点側より起点側を望む



安全対策

現場施工においては、会社と現場が一体となった安全管理を行うため、店社安全パトロールを毎月実施しています。

現場の安全管理上の是正・指導をパトロール巡回者が行います。

また、現場で実施されている良い事例(工夫)については、会社全体に水平展開し、今後の安全管理活動の向上を図るようにしています。



地域貢献

工事受注直後に、道路愛護活動(側溝清掃、道路沿道の除草等)に参加しました。

また、利賀地域体育協会主催の『令和6年度職場対抗ソフトボール大会』にも参加しました。

ソフトボール大会の結果は惜敗でしたが、汗を流し楽しくプレーすることができました。

このような行事に参加することによって、利賀地域の方々や工事受注者の方々との親睦を深めることができ、有意義な時間となりました。



令和6年度利賀ダム付替市道整備他工事

新規

【工期】令和6年3月2日～令和7年1月20日



笹嶋工業株式会社



現場代理人
安田 皓宏

工事概要

本工事は、南砺市利賀村岩渚地先において、利賀ダム完成後の湛水時に水没する市道仙野原細島線の付替整備を行う工事です。

5月末からA1橋台護岸工を施工し、8月末に完了しました。現在は、未施工区間であった、兵谷橋付近の付替市道を整備しています。

無事故・無災害で現場を完成できるように、安全第一で作業を進めて参ります。

道路土工	掘削工 / 5,200m ³ 路体盛土工 / 1,050m ³ 路床盛土工 / 440m ³
法面工	植生工 / 1,940m ²
護岸工	コンクリートブロック工 / 1式
擁壁工	ジオテキスタイル補強土壁 / 133m ²
踏掛版工	踏掛版 / 8m ³
排水構造物工	排水工 / 80m 集水樹工 / 4基
仮設工	土留・仮締切工 / 1式

現場の状況

9月中旬の現地状況(新岩渚橋A1橋台護岸工)



9月中旬の現地状況(付替市道部)



安全対策

本工事では、現場休憩所にレスキューボードベンチを設置しました。普段は休憩用のベンチとして使用していますが、熱中症等の急病人や負傷者対応が必要な緊急時には、ベンチの板と足を切り離して担架に早変わりします。要救護者の発生に備え、職員・作業員共に使用方法を確認し、安全意識の向上を図りました。

また、現場付近では多くの大型車両が運行しています。運転手への教育を徹底し、交通ルールを遵守します。

地域の皆様方には、ご迷惑をお掛けする事の無いように注意して工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



地域貢献

7月12日に開催された「利賀村地区職場対抗ソフトボール大会」に参加させていただきました。地域住民の方々や利賀ダム工事管内の工事施工業者の方々とスポーツを楽しみ、親睦を深めることができました。

今後も、地域行事やイベントには積極的に参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



令和6年度北豆谷地区進入路その3工事

新規

【工期】令和6年3月8日～令和7年1月20日



株式会社岡部



現場代理人
原田 隼輔

工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、利賀ダム貯水池斜面对策等のために北豆谷地区に進入路を整備・造成する工事です。

工事の施工延長は約230mあり、主な作業は昨年度のその2工事に引続き、仮栈橋の施工が延長約93m、仮栈橋の施工後に道路土工として約8400m³の掘削を予定しております。仮栈橋の施工を7月中旬から10月中旬にかけて行いその後に道路土工の掘削を行います。工事完成は12月上旬を予定しています。

現場の状況

8月下旬の現地状況



道路土工	掘削工 / 8,400m ³ 土砂運搬 / 8,412m ³ 法面整形工 / 1,1706m ²
舗装工	アスファルト舗装工 / 1式
排水構造物	プレキャストU型側溝 / 1式 自由勾配側溝 / 1式
道路附属施設工	現場打ち集水桝 / 3箇所 土留工 / 1式
仮橋・仮栈橋架設工	鋼管杭 / 33本 仮橋下部 / 63t 仮橋上部 / 123t 覆工板 / 6,056m ² 仮設高 / 185m

安全対策

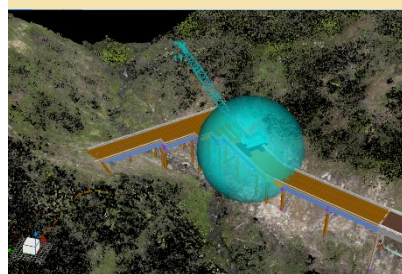
本工事は仮栈橋の施工をしており、この仮栈橋は幅が6mで使用機械が幅約5mのクローラークレーンを用いる必要があり、作業をするには非常に狭い現場条件となっています。そこで3次元モデルを用いて重機の位置、作業半径や、資機材の位置をモデル上で確認できるようにしました。そのため作業の危険箇所等が施工をする前に確認することができます。この3次元モデルを用いて危険箇所を作業員に施工前、施工段階毎に周知し、日々安全作業ができるように心がけています。

また、仮栈橋の施工により大型車両の走行があると思いますが地元住民の皆様にはご迷惑をお掛けしないように注意して工事を進めていきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

地域貢献

4月に北豆谷地区にて側溝掃除に参加させていただきました。また、7月上旬には北豆谷・大豆谷地区合同の草刈りにも参加させていただきました。今後も地域行事やイベント等があれば積極的に参加させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

3次元モデル



側溝掃除



令和6年度利賀地区盛土整備工事

新規

【工期】令和6年3月15日～令和7年1月20日



株式会社藤井組

工事概要



現場代理人
西部 哲也

本工事は、利賀ダム供用時に湛水箇所となる利賀川右岸の南砺市利賀村下島地先において斜面を安定させるための盛土工事です。

4月中旬より現地踏査、起工測量に入りまして、4月下旬より過年度工事の残土処理、支障木の伐採を行いました。6月中旬より、主要工事である路体盛土に着手いたしまして、8月末で全体盛土量の約2/3程完了しました。9月中旬より盛土完了箇所から順に、法覆護岸工を施工いたします。現場の完了は降雪前である12月上旬を目標とし、安全第一で工事を進めて参ります。

現場の状況

8月下旬の現地状況

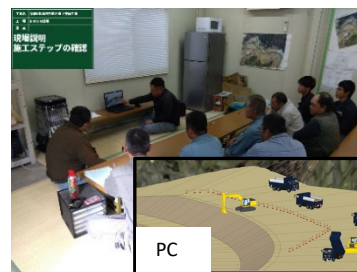


道路土工	路体盛土 (ICT) / 77,800m ³ 掘削 / 43,700m ³ 盛土内排水 / 1式 土砂等運搬 / 1式
残土処理工	掘削 / 42,400m ³ 土砂等運搬 / 1式
護岸基礎工	プレキャスト基礎 / 300m
法覆護岸工	ブロックマット / 2,754m ²
地下排水工	地下排水管 / 1式

安全対策

本工事は大型の重機作業、10tタンクトラックによる土砂運搬が主な工事となることから、重大事故の発生リスクが懸念されます。

安全対策として、作業の打合せ時にCIMデータを活用し、作業手順、運搬経路、安全施設設置箇所等を現場職員、現場作業員全員が把握できるよう取り組んでいます。



地域貢献

4月27日に下村地区の道路愛護活動に参加しました。活動を通じ地域の方々と交流が深められたと感じております。

今後とも地域行事やイベント等があれば積極的に参加させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



令和5年度大洞谷・喜三郎建設発生土受入地整備工事

新規

【工期】令和6年3月9日～令和7年1月20日



砺波工業株式会社

工事概要



現場代理人
小林 稜典

現場の状況

本工事は、南砺市利賀村北豆谷(大洞谷)地内と、百瀬川(喜三郎谷)地内において、利賀ダム事業で発生する土砂の受入地を整備する工事です。

5月より施工を開始し、大洞谷工区では、暗渠排水管の敷設、支障木の伐採を行い8月に作業が完了しました。喜三郎工区では、路体盛土、小段排水設置を行っています。10月より土質改良を行った土砂を使用し路体盛土を行います。11月末の完成を予定しています。

9月中旬の現地(喜三郎谷)状況



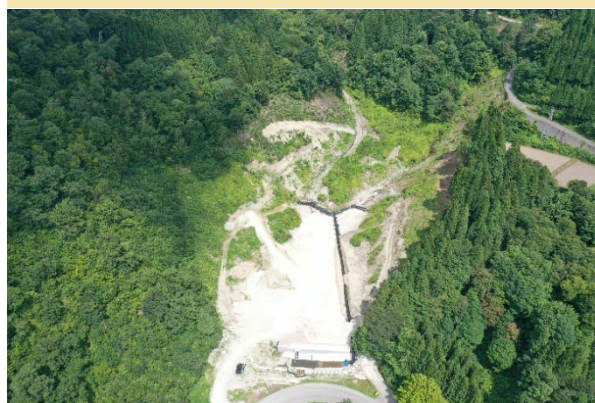
道路土工

路体盛土工 / 31,200m³

地盤改良工

土質改良 / 5,000m³

8月上旬の現地(大洞谷)状況



排水構造物工

暗渠排水管 / 88.9m

準備工

伐採 / 20,000m²

安全対策

喜三郎工区の入りにあたる市道喜三郎谷線は工事用車両がすれ違えるよう拡幅がされていますが、一部拡幅されていない区間があります。拡幅されていない区間にて対向車の有無を確認できるよう対向車検知システムを導入しました。ご迷惑をお掛けしないよう安全第一で作業を行います。



地域貢献

6月9日に百瀬川地区、7月6日に北豆谷地区にて除草作業に参加させていただきました。

今後も地域行事やイベントに積極的に参加させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



令和5年度押場進入路その7工事

新規

【工期】令和6年7月1日～令和7年1月20日



松本建設株式会社

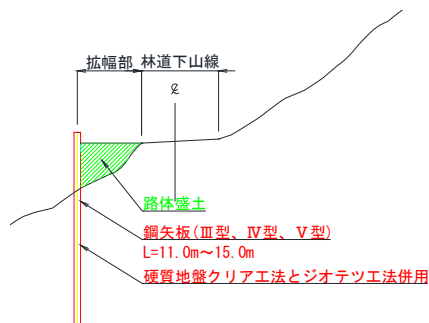


現場代理人
監理技術者
音羽 信孝

工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、林道下山線の進入路を拡幅造成する工事です。施工延長は、約150mで、土工となる鋼矢板を硬質地盤クリア工法を用いて圧入していきます。鋼矢板と既設の林道下山線の地山との間を盛土して、工事用道路を拡幅します。

現在、開始箇所の仮設ヤードの造成と硬質地盤クリア工法と併用でジオテツ工法による同時充填工法を計画しており、10月から本格的に鋼矢板の圧入作業と充填作業を並行して開始し、林道下山線と鋼矢板の拡幅部に施工する路体盛土を交互に行っていきます。



現場の状況

9月中旬の現地状況



道路土工

路体盛土 / 2,000m³
土砂等運搬・積込 / 2,200m³

土留工

鋼矢板(Ⅲ型、L=11.0m) / 18枚
鋼矢板(Ⅳ型、L=11.5m) / 17枚
鋼矢板(Ⅳ型、L=12.0m) / 21枚
鋼矢板(Ⅳ型、L=12.5m) / 33枚
鋼矢板(Ⅳ型、L=13.0m) / 29枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=12.0m) / 53枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=12.5m) / 7枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=13.5m) / 39枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=14.0m) / 85枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=14.5m) / 19枚
鋼矢板(Ⅴ型、L=15.0m) / 23枚
油圧式圧入引抜機据付・解体 / 1式
支給品運搬 / 376.1t

舗装工

碎石舗装 / 2,120m²

安全対策

本工事は、斜面上に鋼矢板を圧入して林道下山線を拡幅する工事で、他工事の機材運搬作業等を極力通行止めしないように作業を進めるため、路肩付近の作業が多く、転落・墜落災害の防止対策に努めたいと考えています。

路肩には、視認性が良いネットや鉄ピン・トラロープを設置するとともに、路肩注意のぼり旗を配置し、作業員への注意喚起を徹底しながら、無事故・無災害で工事を進めていきます。

また、通勤中の交通事故にも留意して運転手への教育や交通ルールの厳守を徹底し、安全運転を励行します。地域の皆様方には、ご迷惑をお掛けすることの無いように工事を進めて参ります。

地域貢献

令和6年7月6日に、利賀村北豆谷地区・大豆谷地区合同の林道の草刈りに参加させて頂きました。今年も雨模様で合羽を着ながらの作業で大変でしたが、地元の方々との交流を図れたことが良かったと思います。

今後も地域行事やイベント等があれば、参加させて頂きたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

オレンジネット、のぼり旗



林道の草刈り



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

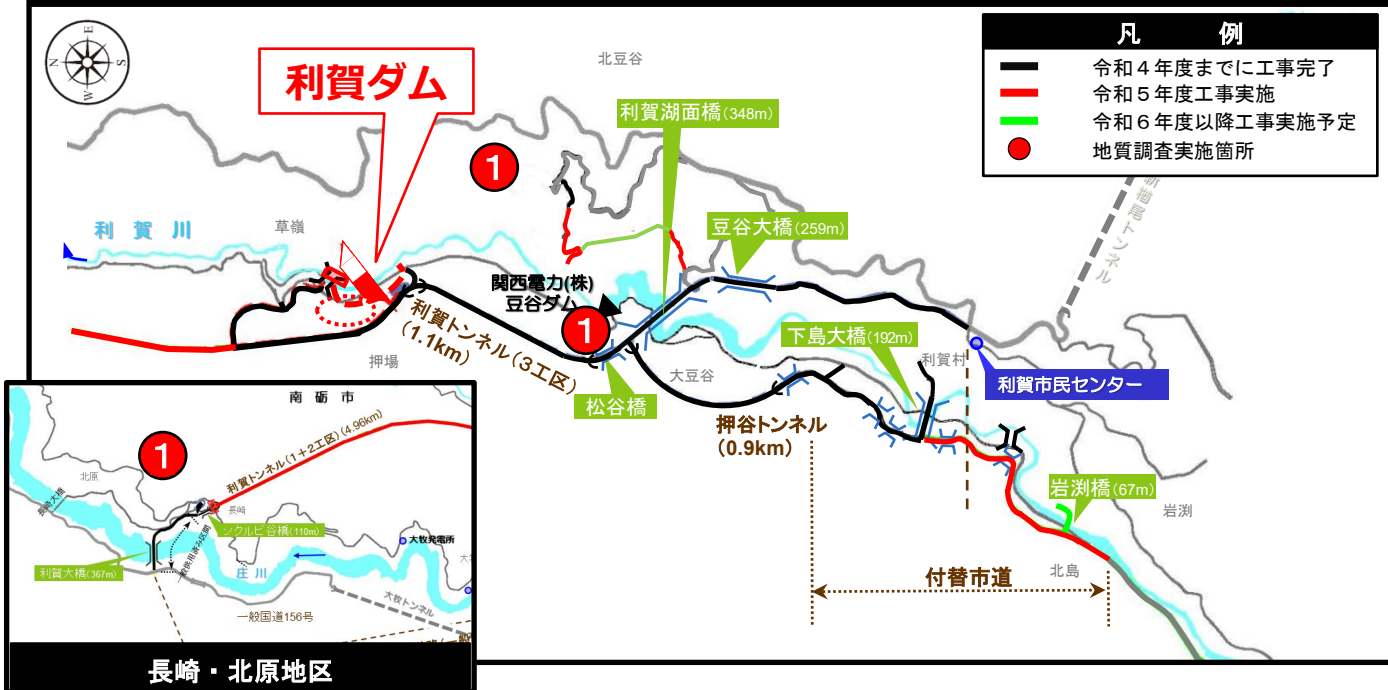
地質調査業務からのお知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



利賀ダム建設に必要な地質調査を実施しております。
今年度は、押場地区等において地質調査(現場作業)を実施中です。

令和6年度 地質調査業務位置図



押 場 地 区



主 任 技 術 者
田 縁 陽 一

1 令和5年度利賀ダム管内地質調査その2業務／株式会社 村尾地研 【工期】令和6年3月12日～令和6年12月27日

業 務 概 要

本業務は、利賀村押場地区において、排水トンネルに伴う水位観測孔設置を2孔(76m、103m)、利賀川左岸(アクセ谷付近)で工事用道路設計のための調査ボーリングを3孔(計29m)を実施し、9月上旬に現場作業は完了いたしました。
現在は、長崎・北原地区で、水源調査(ボーリング4孔、電気探査)を実施しており、全作業は12月上旬に完了予定です。
安全に、早期完了に努めますので、ご協力の程、お願い致します。



9. トピックス

～ 利賀ダム工事用車両は、 工事毎に「プレート」「大型ゼッケン」を表示しています ～

利賀ダム工事事務所では、当工事用車両と識別できる「プレート」及び「大型ゼッケン」を車両の前面に貼り付け、運転手の安全に対する意識向上を図るとともに交通ルールやマナーを守る体制づくりに務めています。プレートは対象となる工事が分かるように、工事毎に番号を変えています。

施工業者に対して安全運転の徹底を指導していますが、もし気になることを見かけましたら利賀ダム工事事務所までご連絡ください。



「大型ゼッケン」

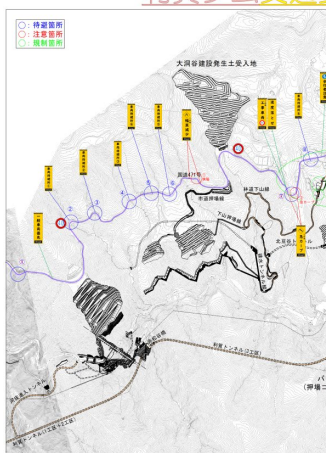


「プレート」
※車内ダッシュボード等に
掲示

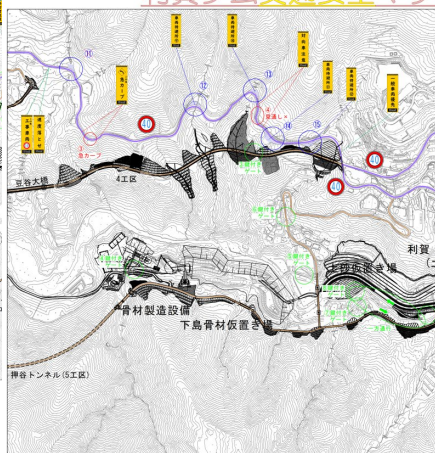
～ 交通安全マップを作成しました ～

利賀ダム工事事務所安全対策協議会の取り組みとして、国道471号や市道仙野原細島線等の一般車両通行箇所にも工事車両が頻繁に通行することから、道路の危険箇所や注意箇所を明示した交通安全マップを作成しました。利賀ダム関係の工事、業務従事者の安全教育活動に利用しています。交通安全マップは、地域の皆様の声や道路状況等を勘案し今後も情報更新を行っていきます。なお、工事安全看板類は準備が出来次第順次設置していきます。

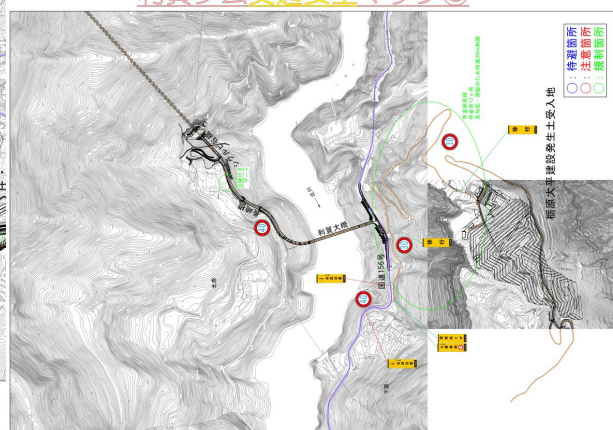
利賀ダム交通安全マップ①



利賀ダム交通安全マップ②



利賀ダム交通安全マップ③



～ ございしょ利賀（監督員詰所）移転しました ～

「ございしょ利賀」は当事務所の工事監督業務を担うための監督員詰所です。これまでは、旧利賀小学校跡地を利用させて頂いていましたが、大規模工事の監督業務のほか情報発信基地としての役目を担うため、南砺市利賀市民センター2階に令和6年7月に移転しました。

地域の皆様とともに利賀ダム建設事業を進めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

〒939-2507

富山県南砺市利賀村171

南砺市利賀市民センター内

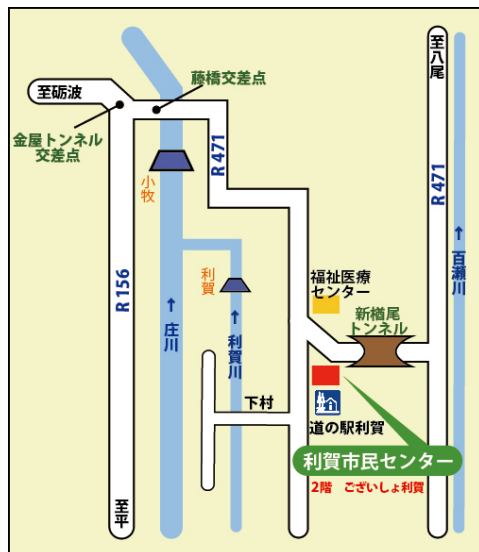
2階 ございしょ利賀

1階 利賀ダムDXルーム

TEL.0763-68-2090



～ございしょ利賀周辺Map～



～ 利賀ダムのダムカードが新しくなりました ～

利賀ダム工事事務所では利賀ダム建設事業をより知っていただくためにダムカードを作成しています。

令和6年8月の“利賀ダム本体並びに押場貯水池法面対策着工式典”にあわせて、ダムカードをリニューアルしました。これまでの第1弾、第2弾につづく第3弾になります。

8月12日から利賀ダム工事事務所、利賀市民センターで配布しています。

なお、利賀ダム工事事務所での受け取りの場合は利賀市民センター入口の「ございしょ利賀」の看板を撮影して写真を提示してください。



10. あとがき



ダムサイト、押場を下流側から望む(R6. 10撮影)

「利賀の水音」も出版回数を重ね、今回で43回目の発刊となりました。

本年度から「利賀ダム本体」「押場貯水池法面对策」の建設が始まり、本年8月11日には“利賀ダム本体並びに押場貯水池法面对策着工式”が開催されました。この着工を皮切りに、利賀ダム建設事業は本格的な工事の段階に入りました。

これまでの事業推進にご理解、ご協力いただいた地域の皆様や関係機関の方々に対して深く感謝の意を表するとともに、『ダムづくりは地域づくり すべては地域のために』の理念のもと令和13年度の工事完成を達成するため着実に整備を進めてまいります。

引き続き、利賀ダム工事事務所では、地域の皆様と協力し着実に事業を進めて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

▼「利賀の水音」について、お気づきの点等ありましたら、下記までご連絡下さい。

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会



■事務局：利賀ダム工事事務所 工事課

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-5-10

【TEL】0763-33-4799 / 【FAX】0763-33-0271

【E-MAIL】toga@hrr.mlit.go.jp

■ございしょ利賀（監督員詰所）

〒939-2507 富山県南砺市利賀村171 利賀市民センター内

◆利賀ダム工事事務所ホームページにて工事の進捗状況を発信中です◆

【URL】 <https://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>

※本誌に掲載した記事・写真等を許可無く無断で複写・転用することを禁じます。

